

画面レイアウト定義書	システム名	難病・小慢DB	作成者		作成日	2021/11/22
	サブシステム名	指定医区画	更新者		更新日	2023/03/13
	サービスコード名		承認者		承認日	

画面ID	A15S010	画面名	院内システム用臨個票・意見書データ一括チェック画面
------	---------	-----	---------------------------

画面レイアウト		概要				
<p>1. 画面レイアウト</p> <p>1) 初期表示</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>① 実行</p> <p>② 臨床調査個人票・医療意見書の一括登録時にチェックツールのバージョンが最新でなかった場合、本チェックツールを一度アンインストールしていただき、最新のチェックツールをインストールしてください。最新のチェックツールのバージョンは以下のダウンロードサイト、もしくは臨床調査個人票・医療意見書一括登録画面で確認できます。以下のダウンロードサイトから最新のインストーラをダウンロードできます。</p> <p>ダウンロードサイトのURL https://dl.nanbyo-appext.mhlw.go.jp/dl/downloads.html</p> <p>臨床調査個人票マスターバージョン 1.0.0</p> <p>医療意見書マスターバージョン 1.0.0</p> <p>チェックツールのバージョン 0.1.0</p> <p>出力フォルダ <input type="text"/> 参照</p> <p>ファイル <input type="text"/> 参照</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">ファイル名</th> <th style="width: 50%;">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「画面イベント一覧」参照</p> </div>		ファイル名	結果			<p>・院内システム用臨個票・意見書データ一括チェック画面領域間の包含関係について示す。</p>
ファイル名	結果					
		備考				
		<ul style="list-style-type: none"> ● 活性化制御 出力フォルダ、ファイルのテキストフィールド ⇒常に非活性。 ● 入力チェックのタイミング 実行ボタン押下時。 ● 繰り返し 特になし。 ● タブ順 左上から右下。 ● 凡例 <p>① : 画面領域番号</p> <p> : 新規に作成され表示される画面領域</p> <p>① : イベントNo</p>				

2) 一覧表示

①

実行

②

臨床調査個人票・医療意見書の一括登録時にチェックツールのバージョンが最新でなかった場合、本チェックツールを一度アンインストールしていただき、最新のチェックツールをインストールしてください。最新のチェックツールのバージョンは以下のダウンロードサイト、もしくは臨床調査個人票・医療意見書一括登録画面で確認できます。以下のダウンロードサイトから最新のインストーラをダウンロードできます。

ダウンロードサイトのURL https://dl.nanbyo-appext.mhlw.go.jp/dl/downloads.html

臨床調査個人票マスターバージョン 1.0.0

医療意見書マスターバージョン 1.0.0

チェックツールのバージョン 0.1.0

出力フォルダ 参照

ファイル 参照

ファイル名	結果
sample_error1.xml	エラーあり。詳細はエラーリストを参照してください。
sample_error2.xml	エラーあり。詳細はエラーリストを参照してください。
sample_success1.xml	成功
sample_success2.xml	成功

2. 画面領域

#	画面領域番号	画面領域ID	画面領域名	備考
1	①	A15S010A001	ボタン配置エリア	ボタン(実行)を表示する領域。
2	②	A15S010A002	コンテンツエリア	チェックツールのバージョン、臨個票・意見書マスタバージョン、入力項目、およびチェック結果の一覧等を表示する領域。 一覧のソート順はファイル名(昇順)とする。

3. 画面の操作

#	手順
1	出力フォルダ、およびファイル(複数選択可)を入力する。 実行ボタンを押下すると確認ダイアログが表示される。 いずれかのファイルにエラーがある場合、選択した出力フォルダにエラー情報が記載されたCSVファイルが出力される。
2	チェックに成功したファイルには暗号化が施され、zipファイルに格納される。 また、ツールのバージョン情報を記載したファイルがこのzipファイルに格納される。 このzipファイルは選択した出力フォルダに出力される。 全てのファイルに対するチェックが完了した後、ファイル名と結果が一覧に表示される。 また、出力フォルダがエクスプローラで表示される。